

## 論文概略

---

論文タイトル	Performance of an intramuscular electrode during functional neuromuscular stimulation for gait training post stroke
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development
巻号項	Volume 38 Number 5 Page 513
出版年	2001 年

---

支援機器	機能的電気刺激
分類(ISO9999)	9
試験相	2
研究仮説(目的)の概要	植え込み型電気刺激装置の長期的な使用は実現的である。植え込み型電気刺激装置により脳卒中患者の歩行、日常生活動作、協調性が改善する
研究デザイン	対照なしの介入研究
障害・疾患	片麻痺
対象者・数	障害者 17 人 (急性期 8 人、慢性期 9 人)
主要アウトカム	電極生存率
副次アウトカム 1	感染の有無
副次アウトカム 2	Manual Muscle Test
副次アウトカム 3	Fugl Meyer Coordination Scale
副次アウトカム 4	Tinetti Balance and Gait Scale
副次アウトカム 5	Functional Independence Measure
統計学的検定	有
結果の概要	99%の電極が残っていて、93%は良好な筋収縮を誘発した。感染はなく、身体機能面でも改善が見られた

---

論文整理番号 145

※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」  
支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究  
(H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター